



杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告

Vol.27(平成22年春号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103

TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp

HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員(区政杉並クラブ所属。現在、幹事長)。平成19年5月より2期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族:妻、長男(7歳)、長女(4歳)、次男(2歳)。

減税基金条例 可決

全国初となる、「将来の減税を目的とした基金」の設置が可決されました。

条例の概要

目的

- 区民税の恒久的な減税に必要な財源の確保
- 大規模災害への備え

基本方針

恒久的減税の実施時期、減税の規模、基金積立ての方針は、区長が「基本方針」を定める

基金管理方針

基金の管理の原則、運用の目標等は、区長が「基金管理方針」を定める

積立額

毎年度の積立額は、基本方針に基づき、当該年度の予算で定める

当面の基本方針

- ◆ 減税の実施時期:10年後
- ◆ 減税の規模:10%
- ◆ 基金積立ての方針:概ね予算の1割(ただし、借金の返済分等を減額)

減税基金委員会

基本方針/基金管理方針の策定・変更にあたっては、学識経験者等で構成する「減税基金委員会」が区長に意見を述べる

基金管理監

基金の管理や処分を技術的に支援する基金管理監を設置

条例可決にあたっての議会の対応

- ① 条例案修正・・・基本方針の策定・変更にあたり、第三者機関である「減税基金委員会」に意見を求めるよう、修正を行いました。
- ② 付帯決議・・・行政サービスの低下を招かないことや、一定期間毎に検証を行うこと等を、今後の留意点として決議しました。



「当面は一定の貯金を目指し、その後、安定的な減税を実施していく」

という今回の減税基金条例の考え方は、受益と負担の世代間格差(1960年生まれ以降、社会保障等の面で受益よりも負担の方が大きくなります)も考慮に入れると、妥当な政策と私は判断します。

代表質問(1)

2月13日(土)、平成22年度予算編成方針に対し、代表質問を行いました。

以下は、主な質問と、区長／教育長による答弁です。

*代表質問及び答弁の全文は、区議会公式HPに掲載されています。

また、インターネット録画中継も、区議会公式HPでご覧になることができます。



岩田の質問

区長／教育長の答弁

地域医療

地域医療体制の充実に向け、専門家による検討委員会が報告書(素案)をまとめた。区の今後の取組みは。

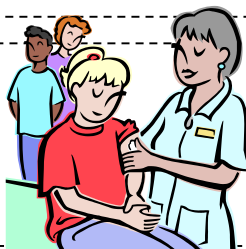


専門的機能の充実、救急対応力の強化、高齢者医療の充実等の必要性が指摘された。今後、最終報告を踏まえ、区として取組むべき方策の具体的な検討を進めていく。



検討会の報告書には、私が二年前の代表質問で指摘した「**在宅医療・介護の総合相談窓口**」の必要性についても言及されています。安心して地域で暮らしていくことができるよう、早急な設置が望まれます。

予防医療に対する区の認識及び今後の方向性は。



区民の安全・安心を一層強固なものにするためには、予防医療の充実が欠かせない。**検診の充実やワクチン接種の助成等**、命と健康を支える施策に積極的に取り組んでいく。

教育

子供読書活動推進計画(案)は意欲的な目標が掲げられており、今後の取組みに期待している。子供にとっての読書の意義をどう考えているのか。



本を読むことで、子供は考える習慣や豊かな感性を身につける。自らを高め、人として成長していく上で欠くことのできないものである。



まちづくり

都市計画高井戸公園の整備にどう取り組んでいくのか。



まちづくり百年の計を図る上で重要な課題である。当面はNHK富士見ヶ丘旧運動場の借受け期間の延長等を進めながら、都が優先整備区域に位置づけるよう協議を進めていきたい。

生活支援

国の総合経済対策として、生活支援策(公的貸付・給付制度)が整備された。今後に向けた課題は何か。



受付窓口が複数にわかれている。実施主体をハローワークに一本化し、制度が一層機能するよう国に働きかけていく。

代表質問(2)

前頁の続きです。

岩田の質問

区長／教育長の答弁

ごみ政策

家庭ごみの戸別収集及び有料化については、どのように判断しているのか。



これまで様々な観点から検討してきた。**引き続き政策上の重要課題**として検討していく。



郷土博物館



郷土博物館の今後の方向性は。



区民の生涯学習の拠点としてより一層の活性化を図るため、地域のNPO団体との協働による運営体制等を視野に入れ、地域に密着した魅力ある博物館を目指していく。

公文書管理

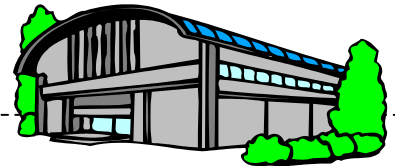
昨年六月、公文書管理法が制定された。杉並区として今後どう対応するのか。



公文書の保管場所の確保を含め、法の趣旨に則った文書管理のあり方について研究していきたい。

予算特別委員会

予算特別委員会では、主に以下について質問を行いました。



- ◆ **新大宮前体育館**
- ◆ **バリアフリー協力店制度**
- ◆ 児童交通公園
- ◆ 区民会館ホールの適正利用
- ◆ 原付バイクナンバープレート
- ◆ 予算における科目設定
- ◆ **長寿応援ポイント**

荻窪小学校の移転跡地に

計画されている、新大宮前体育館の移転改築計画。

既に小学校の解体は完了しており、新施設の設計も終わっています。

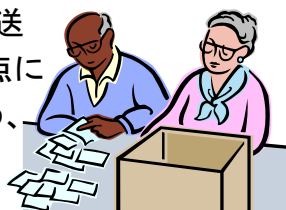
当初予定では今年夏から建設工事が行われ、平成24年夏には完成の予定でしたが、国からの「まちづくり交付金」の手続きに時間がかかること等から、建設着工が遅れることとなりました。

期待される新施設ですので、早期着工に向け、引き続き意を尽くすよう質問・要望いたしました。

昨年秋から始まった、長寿応援ポイント制度。集めたポイントの商品券への交換が、今年4月から始まります。

交換場所は、「区役所窓口」もしくは「ゆうゆう館窓口」。ゆうゆう館窓口での交換の場合、商品券はその場での受け取りではなく、後日郵送

されます。こうした点に混乱が生じないよう、留意点等を質問・要望しました。



杉並区では、平成20年度から「バリアフリー協力店制度」を実施しています。

しかし、平成22年1月末現在で、登録店舗数は166店。残念ながら、非常に少ないと感じます。

店舗の構造上、設備面でバリアフリー対応が出来なくとも、お客様への対応・心構えさえあれば登録できます。

「温かい商店街」づくりのためにも積極的な登録呼びかけを区に要請しました。

ゲストティーチャー

今年も、小学校の運動会の練習に、ゲストティーチャーとして参加しました(3・4年生対象)。

4日間で7授業分でしたが、非常に充実した時間でした。

そして、年末には、子供達からお礼のお手紙をいただきました。

本当に嬉しい限りです。

来年以降も、お手伝いできる限り、参加したいと思います。

(右の写真が、手紙集の表紙です)



子ども・子育てメッセ

3月14日(日)、セシオン杉並にて「子ども・子育てメッセ」が開催されました。

イベントの一環として、日頃踊りを教えている子供達と一緒に、ホールのステージで踊りを楽しみました。

我が子の成長とともに、他の子の成長も楽しめるこうした機会には、今後も積極的にかかわっていききたいと思います。

区政に関する 意見交換会 開催

(入場無料)

- 第41回 4月25日(日) 14:00~15:30
久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室
- 第42回 4月28日(水) 19:00~20:30
高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第四・第五集会室

意見交換会の内容

- 平成22年度杉並区予算の概要
- 減税基金条例

- ✓ 平成22年度の杉並区予算について、概要をご説明します。
- ✓ 減税基金条例について、正確に皆様にご紹介します。
- ✓ それらを踏まえ、今後杉並区に必要な施策について、皆様と意見交換をしたいと考えております。

ぜひご参加
ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

お名前:

ご住所:

TEL:

FAX:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望:

FAX:03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp